

公共交通の目的（基本的な考え方）は？

1 誰を主な利用者として想定するか？（学生、高齢者、町外の方など）

- ・年間34,000人超というのは立派な数字ではないか。通学・通院者にとっては貴重な交通手段であり、15年間運行してきたことから町にはなくてはならないものとなっている。
- ・主な利用者は高校生であり、高齢者はそれより少ない。いずれにしてもバスをなくされては困るのではないか。
- ・利用している方のことを考えて再編するのであれば、高校生がメインであるので、高校生を中心として再編を考えた方がよい。
- ・高齢者の免許返納が増えているが、県内は車がないと生活しづらい環境であり、現在利用されている方も多い。廃止前提ではなく、いかに利用していただけるかを考えていければ。
- ・「私は乗らないけど残してほしい」ということではなく、当事者となったうえで、どうしたら私たちが公共交通を利用していいのかを考えるべき。
- ・利用者が30,000人超ということは、町の人口規模からすれば2倍以上の利用である。他の自治体と比べれば人気はあるバスなのではないか。これを捨てるのはもったいないし、いかに有効に使っていくのが大事。
- ・中学校と連携して、バスを利用しようというキャンペーンなどの取り組みを行うのはどうか。
- ・高齢者が集まる催しとバス利用をつなげればよいのではないか。

2 冗長な路線の見直し

- ・路線バスの次第浜線と循環バスの重複部分は解消するなどの路線の見直しをしていかなければならない。
- ・路線図をみるとかなり入り組んでいる。路線を決めるにあたっては、どういった基準できめたのか。
- ・ダイヤが複雑でわかりづらいというが、長年利用してきたものからすると、年々改良されてきており、わかりやすい時刻表になってきた。もし、わからない方がいるのであれば、説明会などを開いてはどうか。
- ・携帯アプリなどでバスの情報が検索できるようになれば、今まで利用していない方にとってもわかりやすいし、利用が広がるのではないか。
- ・路線を簡素化するのは難しいのでは？ 少ない利用者がさらに減る恐れがある。

公共交通の目的（基本的な考え方）は？

3 定期路線、デマンド交通、その他の手法、町の公共交通にふさわしい形態は？

- ・利用者が多い路線はバス、少ないところはデマンド化するという方法はどうか。
- ・乗車率などの資料を提示してもらうことによって、昼間はデマンドでいいのではないかなどの議論ができるのではないか。
- ・公費負担を削らなければならないとのことであるが、削減目標を設定した方が議論しやすいのではないか。
- ・事業を始める時から赤字はわかっていたのでは？ 財政が厳しくなってきたから見直しということなら、一切やめて福祉的なバスを運行させればいいのか。
- ・高校生の利用であれば、駅までと場所が決まっているのでバスが有利だと思うが、高齢者の利用であれば、自宅から目的地まで乗車できる方がよく、経費的にも安くできるのではないか。
- ・日中の便の利用が4～5人程度であるのに、大きなバスを運行させるのはいかなものか。その人数に見合うワゴン車の方がよいのでは。
- ・他の自治体では、福祉施設の空き車両をバスに活用しているという情報もある。町でもそのような取り組みを検討してみてもどうか。
- ・町から働きかけがあれば、日中の通院・買い物程度なら実費程度で送迎を手伝ってもよいというグループもいる。
- ・15年間バスを運行してた結果が現在の状況である。今の形態はやめてデマンドにした方がいいのではないか。その方が安上りになるのでは？
- ・循環バスの利用者からは、デマンドとなった場合は予約する手間が面倒との声がある。
- ・朝夕をバス運行として日中デマンドとした場合は電話対応や配車対応などが必要となるので今より経費が掛かるのではないか。
- ・便数が少ないため帰りにちょうどいい便が無いことや目的地まで時間が掛かることが今の循環バスの問題ではないか。乗車率の低さがそれらに起因するのであれば、曜日などで地区を決めて便を集中し、利便性を向上させるのはどうか。
- ・ボランティアというのは不確実なもので公共交通としては反対である。

かけるべき財政コストは？

4 効率性を高めるためには？

- ・コストの問題はあるが、ある意味、福祉として考える必要がある。
- ・町、利用者、事業者それぞれの立場があり、それぞれの考えがある。それを全部網羅するのは、簡単だが、当然経費も掛かってくる。
- ・事業を始める前から赤字はわかっていたのではないか？ 財政が厳しくなってきたから見直しということなら、一切やめて福祉的なバスを運行させればいいのか？
- ・経費を削減するには、運転手を減らすか、路線を減らすか、便を減らすかしか方法がないのではないか。
- ・朝夕だけバスを運行し日中は運行せず、ボランティア輸送など別の方法を採用し、経費を削減するのはどうか。
- ・全国的に見ても、公共交通の赤字は当たり前であると思う。

5 路線の再編成は？

- ・路線バスの次第浜線と循環バスの重複部分は解消するなどの見直しをしていかなければならない。
- ・朝の路線バスと循環バスの乗車人数を合計すると50人を超えることになり、現在の循環バスでは乗り切れないのではないか。
- ・統合した場合、運行本数や経路はどうなるのか。
- ・統合したとしても利便性が低下しなければ、亀代地区の町民からの理解が得られるのでは。乗り継ぎをしてもなくても目的地に間に合えば問題はないと思う。
- ・路線バスと循環バスで50人くらいの利用があるとのことだが、実際もっと利用したいと考えている人はいると思う。利用しない人は自分の都合に合わないということ。
- ・統合案では役場を中心に放射状に路線が伸びているが、町内の拠点と拠点を結ぶ循環線の新設は考えていないのか。

かけるべき財政コストは？

6 土曜日の運行は？

- ・高校生の利用について、土曜日にも部活などがあるので利用したいのだが、土曜日便がない。平日も朝早い便がない。部活動をしていると帰りの便もなく、バスを利用するためには部活動ができない状況。
- ・土曜日の午後便は、以前運行していたが、利用がないため廃止となった経緯がある。利用者懇談会でも存続を要望したが、叶わなかった。
- ・新潟交通の路線バスも以前は土曜日便があって高校生が利用してたが、廃止されてしまった。

7 運賃100円を維持するべきか？

- ・運賃100円はありがたいが、値上がが必要であれば考えていかなければならない。
- ・一般乗車とフリーパスの割合をみると、一般乗車数が多い。それで収支率が悪いということは、100円という料金が適正なのか考えなければならぬのでは？
- ・料金を200円にすれば、単純に倍の収入となる計算だが、値上げにより乗らなくなる方もいるのではないか。利用者を増やすのであれば、逆に料金を下げるべきでは。
- ・現在乗り継ぎは無料となっているが、乗る側としては必要で乗っているのに、乗り継ぎの際に割増しとしてもやむを得ないのではないか。
- ・消費税が増税となったところでもあるので、値上げを行っても受け入れてもらえるのではないか。
- ・一人暮らしの高齢者の方も利用している。値上げをしてもいいからバスを継続してもらいたい。
- ・値上げを行うのであれば、定期券などで割引を行うことを検討してはどうか。

8 減免対象はこのままでよいか？

- ・高齢者にとっても半額程度であれば受け入れてもらえるのではないか。